

物語『チビ竜と魔法の実』シノダ！シリーズI巻目

とみやすようこ 富安陽子／作 おおばけんや 大庭賢哉／絵 かいせいしゃ 偕成社 ひみつ かか 秘密を抱えた家族のドタバタ愛情物語 あいじょう



パパとママと3人の子ども達のごく普通に見える5人家族の信田家。じつは、信田家には、誰にも知られてはいけない重大な秘密がありました。それは、ママの正体が、キツネだということです。人間のパパと、キツネのママ、人間とキツネのハーフの3人の子ども達。この信田家には、次から次に災難が降りかかってくるのでした。

ある日、お風呂場に、小さくて青い竜が飛び回っていたのです。窓を開けても出て行ってくれません。どうやら、お風呂場にすみつくようです。雲をつくって雨をふらし、その度に体が大きくなっていきます。さて、どうやったら、信田家から出て行ってくれるのでしょうか？

竜以外にも様々な災いが襲ってきますが、信田家はいつも明るく前向きに立ち向かっていくのです。事件の連続にドタバタしますが、とってもユニークで家族愛が感じられる本です。

物語『アルフレートの時計台』 さいとうひろし 斎藤洋／作 森田みちよ／絵 かいせいしゃ 偕成社

20年の時を超えて知る真実とは？

ドイツの街に様々な噂のある時計台がありました。人が入るところは見ても、出てくるのを見た者はいない。いつも時計の針は3時を指しているが、夜中の0時だけは0時を指している。そして、時計台の先端に白いフクロウが止まっているのを見ると…。

幼少期を時計台のある街で過ごしたクラウドは、仕事の都合で久しぶりに故郷に帰ってきました。午後3時頃時計台に行くと、いつも閉まっているはずの扉が開いており、中に幼少期の友達が少年の姿のまま現れたのです。一体何が起きているのでしょうか？20年の時を超えて再会を果たした奇跡の友情物語です。



八幡市立八幡小学校 図書室

本のおたより

(4年生～6年生用)



令和4年5月17日春号

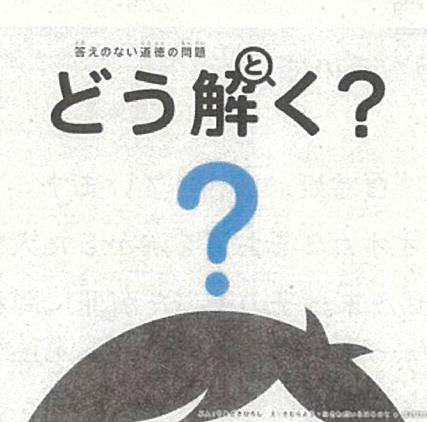
楽しい本紹介します

新学期が始まり、1か月が経ちましたね。高学年になると、授業で習うことも難しくなると思いますが、分からなかったことや、もっと調べてみたいと思ったことは、ぜひ、図書室の本を使って調べてみてくださいね。

今回の本のおたよりでは、読んで楽しい気持ちになる本を紹介したいと思います。本を読むことが苦手な人でも読みやすい本が多いので、気になる本があれば、図書室に借りにきてくださいね。

道徳『答えのない道徳の問題 どう解く？』

やまざきひろし 山崎博司／文 きむらよう 木村洋・にさわだいらはるひと 二澤平治仁／絵 ポプラ社 「どう解く？」×「道徳」



答えが1つではない道徳の問題を考えていく本です。例えば、「ついていい嘘と、ついちゃいけない嘘って、どう違うんだろう？」「人数が多い方が正しいってどうして言えるんだろう？」「どうしてお母さんは、ボクの嫌いな勉強を押し付けてくるんだろう？」など、答えを出すのが難しい問題が載っています。みなさんは、どのように考えますか？

最後の方のページには、みなさんと同じ小学生が考えた意見が載っているので、比べてみると楽しいですよ。そして、池上彰さんや谷川俊太郎さんなど大人の著名人が考えた意見も載っているので、考えるヒントにしてみましょう。